



むな かた大節分祭

『鬼は外、福は内』多くの参列者のなか
無病息災・災難消除を祈り盛大に斎行

二月三日、宗像観光協会(会長 小林正勝)との共催による「むなかた大節分祭」が行われ、「福」を授かるうとする多くの参拝者が参集し、寒さを感じさせない熱気で包まれた。

本来、節分とは季節の分かれ目を指す言葉で、立春・立夏・立秋・立冬の前日の意であるが、よく「立春をもって年とり」といわれる通り、旧暦では立春を一年の始めとしており、春の節分を特に重視していたことから、今では立春の前日のみを意味するようになった。

一月三十一日、氏子



平成ノ大造営

時満ちて
道ひらく

余滴

三月三日は女の子のお祭り、ひな祭り・桃の節句である▼この日が桃の節句といわれるのは、ちょうど桃の花が美しい時候というだけではなく、桃の木には日本の神話をみても、悪鬼を退ける霊力があり、宮中の追儺行事でも、桃の木による鳴弦をおこなった例もある。古くから邪気を祓うという信仰があったことにもよるだろう。現在は旧暦のその日を、そのまま太陽暦に読み替えられたため、桃の花の時期と食い違っている▼女の子の初節句には、祖父母からひな人形が贈られる。これに対して、子供の家からはお礼として、菱餅やあられを贈る風習もある。毎年この日にひな人形を飾って、女の子がこれまで無事に育ってきたことに感謝し、今後すこやかに美しく育つことを祈念する。ひな人形は、天皇・皇后さまを模し、内裏さまを最も上位に置き、三人官女、五人囃、左大臣・右大臣、隨身の順に飾る▼この祭りは直接神社でおこなわれる主要な祭りとはいえないが、その根底にあるものは神社の祭りと同じく古来、日本人の心に脈々と伝えられてきた神道そのものである。(神)

神具・装束・授与品



装束店 〒600-8503 京都市下区油小路通六条上る
フリーダイヤル 0120-075-980
福岡店 〒812-0068 福岡市東区社領1-12-10-401
フリーダイヤル 0120-055-092
授与品店 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23
フリーダイヤル 0120-075-820

木組の家 匠の技

総合建築業 株式会社 弘江組

〒811-3406 福岡県宗像市稲元4丁目20 電話(0940)32-2567



節分祭祭典

青年会の奉仕により豆打式の特設舞台を昨年と同じく齋館前の広場に設けられた。二月三日、定刻午前十一時、本殿にて節分祭を斎行。責任役員・氏子総代会・消防団など豆打式奉仕者を始め、氏子会評議員会の方々が参列される中、高向宮司が災難消除・延命招福を祈念する祝詞を奏上、次に神職二人が拝殿の左右に分か

れ、追儺神事「鳴弦ノ儀」を行い、桃弓・葦矢にて一人は天に向け、もう一人は地に向けて矢を三度射る所作をし、弦を三度鳴らし天地の邪気を祓い清めた。

祭典後、神職・豆打式奉仕者は齋館前に設営された特設舞台に移動し、高向宮司が一年の無病息災を祈念し「鬼は外、福は内」の発声と共に福豆が撒かれた。今年の福を授かろうと集まった多くの参拝者は高宮参道に列をなした。一般参拝者の入場制限を行いながら、子供と大人の場所に別れて四回行われ、黄色い歓声が神苑にこだましました。

本年も宗像観光協会を始め、宗像大社氏子青年会・宗像歴史観光ボランティア等、御協力頂きました各団体各位には衷心より御礼申し上げます。



豆打式待つ参拝者



豆打式

建国祭斎行

二月十一日午前十一時本殿にて、わが国建国の事跡を祝う建国祭が斎行された。

神武天皇御即位・建国の昔を顧みて国体護持を祈念する祝詞を奏上し、巫女による浦安舞が奉奏され、祭典は滞り無く終了した。

今年には皇紀二千六百七十五年にあたる。皇

紀とは神武天皇が今の奈良県である橿原宮で即位式を挙げられた年を元年とする事に基づく我が国独自の紀元である。建国の歴史が神話の時代まで遡る国は、かつて他にもありましたが、それが連続と続いているのは、世界で最も古い歴史を持つ日本だけである。

近年、西洋暦の表記の上で「平成」の元号表

記をかつて記すのが主となり嘆かわしいかぎりである。現在でもこの日には、全国

各地で様々な神事、式典等の奉祝行事が行われているが、其の一方、反対の集会も目立って行われている。日本人はこの日の意義を各々充分に認識し、世界でも有数の文化・歴史を持つ我が国を世界に示し、また子孫に継承していかねばならない。



浦安舞奉奏

時満ちて道ひらく

造営日記 ⑮

辺津宮本殿・拝殿修復事業では、貴重な文化財を後世に伝えるため、防火施設の再整備も実施されました。

境内各所、最新鋭の設備に整えられた中で、本殿と拝殿を守るため設置された三基の放水銃の試運転が、文化財防火デーの一月二十六日実施されました。

この放水銃は、本殿西側と裏、東側の絵馬堂横に設置され、放水によってできる水の膜(バリア)によって、本殿と拝殿への延焼を防ぐことを目的としています。

実施当日は六ページ記載の防火訓練後、一般の参拝者が少なくなつた午後五時、平素より少し早めに閉門し、神社関係者、宗像

市の文化財担当者、施工業者ら総勢二十名が配置につき見守る中、一四五馬力のエンジンポンプが作動し、毎分六五〇リットルの水が本殿・拝殿に放水されました。

放水が開始されると瞬く間に、本殿と拝殿は水の膜で覆われ、初

めて目にする光景に周囲の神職からは「オォ〜」と歓声が上がりました。放水銃の角度や先端の絞りの微調整を、施工業者の担当者がずぶ濡れになりながら懸命に作業を行い、凡そ二十分間の放水時間内に無事調整を終えることができました。

今回の試運転によって作動が確認されたため、今後放水するのは実際の火災時のみ。放水銃が作動する機会がないことを祈ります。

■放水状況



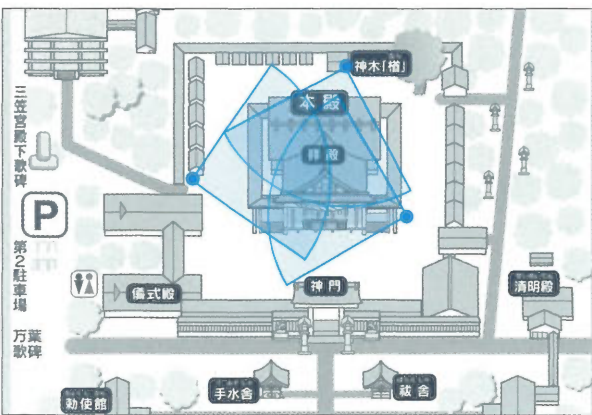
■新たに設置された放水銃



(本殿裏、地上式)



(本殿西側、高所式)



放水銃設置箇所

御造営奉賛者御芳名

(平成二十七年一月)(順不同・敬称略)

五〇,〇〇〇円
 粕屋町 日章工業株式会社
 代表取締役社長 藤新 成信
 一〇〇,〇〇〇円
 宗像市
 (株)高山不動産 高山 卓也
 五〇,〇〇〇円
 福岡市 久保 道
 三〇,〇〇〇円
 宗像市 山口 政行
 二〇,〇〇〇円
 廿日市市 齋藤 眞
 宗像市 江口 知弘
 一〇,〇〇〇円
 岡垣町 井上 勝弘
 嘉麻市 神田美智恵
 北九州市 原田 利丸
 日田市(有)高倉スレート工業 高倉 頼利
 福岡市
 (有)橋口ビル 橋口 則子
 福岡市 山本 陽子
 福津市 馬場 貞仁
 宗像市 中西 常道
 宗像市 力丸 利昭
 和歌山市 白山 義晃
 九〇,〇〇〇円
 熊本市 小森田俊彦
 六〇,〇〇〇円
 臼杵市 足立利介、遠介、美紀

五〇,〇〇〇円

板橋区 野下 真実
 茨木市 占部 博
 唐津市(医)なごみ会酒井医院 酒井 篤
 北九州市 加来 明生
 北九州市 桑原 靖子
 北九州市 桑原 安弘
 北九州市 下村 武
 北九州市 山口 辰弘
 奈良市 加藤 真義
 東村山市 青柳 達彦
 福岡市 小原 早人、祐真
 福智町 森本 富子、育世
 宗像市 七田 清光
 宗像市 西山 智史
 三〇,〇〇〇円
 糸島市 國分 一美
 糸島市 國分 浩一
 北九州市 伊崎 安彦
 久留米市 渡辺 篤
 福岡市 井上 泰博

二〇,〇〇〇円

福岡市 高島 敏雄
 宗像市 松久 公嗣
 上峰町 高木美智子
 雲仙市 馬場 保
 岡垣町 篠崎 正洋
 帯広市 山本 裕子
 春日市 寺戸 和之
 北九州市 河辺 心
 北九州市 副田 義男
 北九州市 手嶋 憲一
 基山町 藤田 一徳
 新宮町 柿沢 斉
 世田谷区 中野 博貴
 中央市 坂田 勝幸
 日田市 原田 伸吾
 福岡市 月川加代子
 福岡市 吉永 春男
 武蔵野市 土田 伸子
 宗像市 長瀬 兼朗
 宗像市 古本 元治
 宗像市 水本 芳則
 宗像市 山口 哲司
 山鹿市 竹下 輝幸
 行橋市 毛利 榮壯

宗像大社氏子会御造営奉賛者御芳名

(平成二十七年一月)(順不同・敬称略)

宗像市
 梶原 経治
 河辺 幹夫
 古賀 留三
 佐藤 千里
 藤島 和也
 藤島 正浩
 船越富美子
 福岡市
 吉田 晃

神前結婚式挙式者芳名

(平成25年4月~平成26年12月)

末長いお幸せをお祈り致します。



5月25日	5月19日	5月18日	5月11日	5月11日	5月6日	5月6日	5月6日	5月6日	5月3日	5月3日	4月27日	4月27日	4月27日	4月20日	4月20日	4月13日
坂中	藤本	吉山	山口	西山	菅沼	加藤	沖野	林	郷田	北野	石松	菅木	高久	福嶋	河内	大和
雄太	尚子	祐美	幹彦	恒治	大地	絵理	高正	志穂	拓也	員伴	郁子	智都	智子	真貴	里江	裕典
宗像市	宗像市	福岡市	津市	宗像市	北九州市	福岡市	岡市	間市	方市	像市	筑紫野市	間市	岡市	津市	北九州市	北九州市

平成25年4月~12月

11月16日 梶栗井 倫子様 宗像市	11月4日 高矢野 美智子様 新宮町	11月4日 鶴智原 健太様 北九州市	10月27日 清大田 美広和様 粕屋町	10月20日 工藤永貴 美文孝様 岡垣町	10月19日 堀森田 一瑠美様 宗像市	10月14日 藤原吉田 有花様 東京都足立区	10月13日 田宮崎 和裕久様 川崎市	9月29日 四安部 直有弘様 福岡市	9月14日 西伊藤 未紗子様 千葉県千葉市	9月7日 安高武 智誠様 福岡市	8月31日 山本由紀 裕紀様 北九州市	8月24日 中佐藤 美由紀様 宮若市	6月29日 柴坂戸 喜憲治様 福岡市	6月23日 早高橋 絢昭彦様 愛知県清須市	6月23日 神富田 智寛昌様 芦屋町	5月25日 原大下 エリナ様 直方市
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	------------------------------	---------------------------------	------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

5月3日 安牛島 弥能之様 兵庫県神戸市	5月3日 花田信一様 久留米市	4月26日 石橋由美様 宗像市	4月20日 濱花田 彩亮様 福津市	4月20日 中山圭太様 兵庫県西宮市	4月12日 高阿部 めぐみ様 若市	4月12日 眞和鳥 可奈子様 宗像市	3月22日 則高行 千栄子様 宗像市	3月22日 戸武藤 絵良明様 千葉県印西市	3月16日 佐松浦 栄正幸様 北九州市	3月16日 原時枝 百考次様 福岡市	2月22日 川安河 内飛鳥様 須恵町	2月16日 野網崎 見山周二様 宮若市	平成26年2月~12月		12月8日 廣一ノ瀬 渡千春様 福津市	11月30日 松出納 景子様 宗像市	11月24日 中片江 佳子様 宗像市
-------------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------	--------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	-------------	--	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

9月27日 真嶋津 佑大将様 福岡市	9月21日 宮遠藤 佳子様 大分市	9月21日 長田由憲 典様 宗像市	9月21日 持矢口 香代子様 宗像市	9月15日 高尾卓司 利枝様 福津市	9月6日 青木宏成 さおり様 福津市	9月6日 藤井千加 純一様 宗像市	8月24日 田三浦 中浩祐様 久留米市	7月26日 安部ジュロ ジュラト様 宗像市	7月23日 合宮崎 直也様 宗像市	7月20日 岡篠原 亜希様 宗像市	7月20日 伊城台 藤麻由梨様 筑紫野市	6月28日 中濱口 清大輔様 北九州市	6月22日 眞鍋智昭 貴子様 宗像市	6月22日 岩本篤典 ひとみ様 北九州市	5月29日 吉村加奈 子様 糸島市	5月6日 小野博文 三奈様 宇美町
-----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	------------------------------	--------------------------------	----------------------------	----------------------------	-------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	----------------------------	----------------------------

12月14日 山金根 麻衣様 宗像市	12月14日 山和口 敦豪士様 宗像市	12月13日 小石野 田奈人様 古賀市	11月29日 吉田志穂 馬様 福津市	11月26日 宇原隆幸 智子様 宗像市	11月21日 原末継 愛子様 直方市	11月18日 市石丸 由里子様 東京都杉並区	11月13日 三浦大穂 佐拓人様 福岡市	11月7日 宇二星 都由紀恵様 福岡市	11月7日 有吉小田 勇介様 宗像市	11月1日 山天津 功祐太郎様 千葉県千葉市	10月27日 森梶原 奈清文様 東京都中央区	10月26日 横山悠里 様 玉名市	10月26日 池井ゆみ 功晃様 別府市	9月28日 世西川 直裕樹様 鞍手町	9月28日 千白土 彩加様 北九州市
-----------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

第41回

文化財防火訓練

一月二十六日、恒例の文化財防火訓練が、大社自衛消防団・宗像地区消防本部・宗像市消防団(第二・六九・十一分団・女性消防団)から百名余が参加し行われた。

消火訓練は、本殿横に平成ノ大造営による仮本殿がある為、昨年同様に第二駐車場から出火、重要文化財の本殿・拝殿、また、国宝・



神職と地元消防団による放水

重文を収蔵展示する神宝館に火勢が迫る想定で行われた。

午前九時五十分、火災を発見した神職が、社務所に連絡、このたび新設された消防署への直通電話器で通報。職員は直ちに第二駐車場に駆けつけ、巫女と女性消防団員はバケツリレーによる初期消火にあたった。続いて神職・管理員は、可搬式ポンプ・消火栓よりホースを延ばし、地元消防団と共に放水を開始。

引き続き強風により祈願殿に延焼の想定により午前十時、宗像地区消防本部・宗像市消防団の梯子車を始め各消防車両がサイレンを高らかに鳴らし第一駐車場に集結。祈

願殿に一斉に放水、本番同様の消火活動が繰り広げられた。終了後、訓練参加者は第一駐車場に集合し、門脇豊・消防長、吉武大作・消防団長、谷井博美・市長による講評、高向宮司が防火訓練の御礼挨拶を行い、今年の訓練も無事終了した。

また午後より、宗像地区消防本部の指導による救命講習を清明殿にて開催。消火器・AED(自動体外式除細動器)の取り扱い、心肺蘇生法の講習を約二時間に亘り指導いただいた。

六十六年前の昭和二十四年一月二十六日、法隆寺金

堂での火災を契機に六年後の昭和三十年より「文化財防火デー」が定められた。当大社では昭和四十六年に斎行された「昭和の大造営」を機に毎年実施するようになり、今年で四十一回を数える。



巫女と女性消防団によるバケツリレー



祈願殿への一斉放水



訓練後の講評・御礼挨拶

春まつりの御案内

春季大祭を下記行事日程で斎行致しますので、皆様方お誘いの上御参拝下さいますよう御案内申し上げます。



主基地方風俗舞

- ◆3月31日(火) 午後 5 時 総社地主祭
- 午後 6 時 宵宮祭
- ◆4月 1 日(水) 午前11時 一日祭(氏子奉幣・主基地方風俗舞・浦安舞)
- ◆4月 2 日(木) 午前11時 二日祭(海洋神事功労者表彰)
- 午前11時40分 宗像護国神社春季大祭
- 午後 2 時 高宮祭、第二宮・第三宮祭、交通安全講社祭
- 献茶祭(南坊流・花田社中)

(続)

決の奇物

297

いしただし



佐世保の海軍墓地には「航空母艦加賀戦没者慰霊碑」もある。加賀は戦艦として設計され、起工は大正九年(一九二〇)七月、横須賀海軍工廠で行われた。ワシントン海軍軍縮条約によつて同型艦の土佐とともに廃棄されることが決まったが、大正十二年(一九二三)、巡洋艦天城が関東大震災で損傷を受けたため代艦として加賀が空母に改装された。

十七年六月のミッドウエー海戦では世界最強といわれた空母を一挙四艦も失い緒戦の大勝利から一転して、太平洋戦争の敗北のはじまりとなった。

雷で海没処分された。飛龍は三艦と離れて作戦、米航空母艦「ヨークタウン」に致命傷を与えたが米機攻撃を受け、味方駆逐艦によつて海没処分された。

四空母とは赤城、加賀、蒼龍、飛龍で海戦中兵装転換と帰還機収容中の一瞬の間隙をぬつて米艦載機の攻撃を受け、加賀、蒼龍沈没、加賀は三十機の米急降下爆撃機の直撃弾十発以上を受け大火災に包まれ、二度の大爆発後沈没、艦長以下乗員八百余名も艦と運命をともした。加賀の排水量は四二、五四一T、速力二十八、三kt、全長二四〇、三m、搭載航空機九〇機。(最終改装、日本軍艦百選より)赤城も大破炎上、翌日味方駆逐艦の魚

雷で海没処分された。飛龍は三艦と離れて作戦、米航空母艦「ヨークタウン」に致命傷を与えたが米機攻撃を受け、味方駆逐艦によつて海没処分された。

加賀は赤城が改装中に上海事変や日中戦争中に上海沖、揚子江河口沖の馬鞍群島付近に風翔と共に展開、搭乗機は上海上陸支援や中国軍事施設を攻撃、南京空爆や中国軍機との空戦も行っている。戦線が中国内陸部に移ると陸上からの攻撃が可能となつて、日本空母は中国沿岸から引きあげた。加賀は真珠湾攻撃に参加(旗艦赤城・南雲忠一司令長官座乗)攻撃機第一次三十五機、第二次三十六機で大戦果をあげている。



ミッドウエー海戦の様子をチラリと垣間見た水兵がいた。高橋孟氏で「戦艦 霧島の烹炊係

それがハ加賀Vであったかハ赤城Vであったかは未だに確かめることはできない。飛行甲板の周囲から、ポツポツと炎が吹き出し艦橋の下半分は煙に隠れて見えない。何であるかわからないが飛行甲板の後部あたりから黒いものがポツリポツリと落ちてくるような気がした(中略)後部から落ちていた黒いものが乗組員であったことに気がついて愕然とした」高橋孟「海軍めしたき物語」(新潮社一九五七年)昭和十七年(一九四二)五月の珊瑚海海戦で米空母レキシントンが日本機の攻撃を受け大破炎上、総員退去で飛行甲板に殺到。海に落下する兵士の



写真がある。まさに高橋氏が見た光景もそれであろう。四空母の沈没、航空機、パイロットと大きく戦力が失われた敗北であった。国民にはこの敗北は知らされなかった。

から甲板にある食材の野菜をとりに行かされる。戦闘中で艦底にある烹炊所で食事の準備中である。艦上からの猛烈な砲声の間断なく響き、艦も上下左右と大きく揺れ動くなかで上甲板までやっとかけあがった。「野菜庫の扉に手をかけようとしてチラリと私の横顔にオレンジ色の明るい光のようなものを感じハツとして振り向いた。それは心臓の鼓動が止まる程の驚きであった。燃えさかる航空母艦の姿が私の目に飛び込んできたからだ。距離にして二千mあるかないか海上で見ればすぐそこに見える位置である。しかも全速力で我が艦に寄りそうかのようには同航しているではないか、私は一瞬目を疑った。まぎれもなく僚艦の哀れな姿であった。

第六四三回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メット



宗像市 宮田 山本 静子
拭くと福が舞い下りるとて友くれし緋色の手拭しみじみと見る
福と拭くをかけた友人の贈り物を愛おしむ作者。三句は(友の)と助詞を入れたい。

北九州市 八幡西区 豊田 光子
戦ひにいのち存へ創立の元朝式に万歳三唱
元朝式が分からなかったが「早起き会」の元日の行事らしい。長命を感謝する作者か。

福岡市 中央区 相良 公子
一日の終わりに入るあつき湯にふる好きの母を思い出しおり
母を思い出す具体(ふる好き)が良い。四句は(風呂好きなりし)と過去に。

宗像市 日の里 秋吉 嘉範
就職が役所に決まり初詣障がい持てる孫の目に涙
喜びの歌。言葉を整理し(初詣する孫の目に涙見ゆ障害あれど就職決まり)とした。

北九州市 八幡西区 曾川恵美子
五十年粉雪舞いしかの日より嫁ぎ来て早や苦も楽も過去
高年齢の作者か、悟りを開いたような境地。(小雪舞う日に嫁ぎ来て五十年)すべて過去。

福岡市 若木台 山崎 公俊
そらすこし遊んでおるきと魚たちに海の女神の初春の声
想像の景が楽しい。女神の声を聴いたと思う理由(例えば潮騒など)を知りたい。

宗像市 日の里 大和美由紀
高台のグラウンドから朝焼けの空を眺める夫と並びて
仲の良いご夫婦の姿がみえるような歌。あと一つ作者ならではの把握があればと思う。

北九州市 門司区 北野カズミ
凍てつき路上に人の倒れ待ちつつをれど救急車来ず
緊迫した状況が詠まれている。二句の人を若い、青年などとすると更に明確になる。

福岡市 若木台 野間 精一
杖にぎる手にかそけき朝の雨師走の道をひとり歩めり
気分がよく出ている。(こぬかあめ杖にぎる手にうけながら師走の朝)としてみた。

宗像市 池田 森 龍子
ふる里は石佛の里古雛は箱の中より出を待ちをらむ
一読、魅力的な歌だが、古雛のある場所は故郷なのか、現在の住居なのか気になる。

福岡市 星ヶ丘 佐々木和彦
台風過ぎたるあとの掃き掃除他家の落ち葉も混じりていたり
共感できる歌。三句以下(わが庭に他家の落ち葉も混じるを掃けり)としてみた。

宗像市 多禮 早川 祥三
大寒の淡雪のいろほのかなるたかねのはなにつみます格差
初句から四句までが序詞で結句にかかる構成。格差の拡がる社会を案じる作者だろう。

宗像市 田久 巻 桔梗
伽羅かをる座敷、蜜柑のかをる居間、書肆の匂ひのするわが書齋
部屋ごとに匂いが違うという発見が面白いが、ややくだいので居間と書齋だけにしている。

宗像市 大島 杉田 禮子
五十年添いて迎えし初春の神社詣りは肩を並べて
結婚後五十年の作者(夫婦、羨ましく読んだ。二句は(迎え)と現在のこと)。

◆選者詠
体力に自信なき日は護符として母のかたみの指輪をつける
物あまた持たぬくらしに憧れつつまたも買ひたり客用の布団

第六一六回

俳句作品集

宗像市 多禮 早川 祥三
緋袴に襟をただした巫女の風

3月祭事暦

- 1・15日 月次祭
午前10時~ 高宮祭 第二宮・第三宮祭 宗像護国神社祭(1日)
午前11時~ 総社祭 浦安舞奉奏(1日) 豊栄舞奉奏(15日)
4日 氏貞公墓前祭
午前11時~ 於=氏貞墓前 (宗像市上八) 本年は仏式で斎行
19日 松尾神社祭
午前11時~ 於=境内松尾神社
21日 皇霊殿遙拝式
午前10時~

編集後記

多くの方々に参集いただいた節分祭を終え、境内各所では正月の仮設授与所等の撤去作業が進められております。どの社寺でも同じですが、一年で一番多くの参拝者を迎える一月(正月期間)は、臨時授与所等を設け、様相が大きく変わります。当大社では参拝者の少なくなる節分祭後を目途にこの撤去作業が進められ、三月には平素の宗像大社へと戻ります。▼正月には正月の、二月には二月の、様相が変われば、雰囲気もがらりと変わります。花木の少ない境内ですが、この季節にはこの季節の、梅、桃、もう少しすれば桜が彩りを添えます▼すつきりした境内を歩けば、梅の花が満開に近づいておりました。参拝の折には平素の雰囲気と春を感じて頂ければ... (鈴)

発行所 宗像大社社務所・宗像会

住所 〒811-1350 五
福岡県宗像市田島233-1
電話 (0940)621-3311(代)
発行人 葦津幹之
編集人 大塚宗延・鈴木祥裕
制作・印刷 セネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共 1,000円